

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】生活・文化・社会におけるオンライン化の影響	講習形態	講義
開設者	長崎県立大学	定員	40名
開設日/時間	令和3年5月22日(土) / 8:55~16:30	会場	長崎県立大学シーボルト校西棟1階 W102講義室(西彼杵郡長与町)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校、中学校(社会)、高等学校(公民) 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 吉光正絵 (国際社会学部) Eメールアドレス： my@sun.ac.jp / TEL： 095-813-5307			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 本講義では、COVID-19禍を期に急速に進んだ生活・文化・社会におけるオンライン化による変化について具体的な事例を紹介しながら講習を行う。 講習方法： 当日、プリント資料を配付しパワーポイントに従って講義を行う。テーマに応じたグループワークを適宜行い、最終時間に30分間の筆記試験を行う。 講習到達目標： <ul style="list-style-type: none"> 生活・文化・社会におけるオンライン化の急速な普及について考えられるようになること。 背景にあるグローバリゼーションや社会情報環境の変化についても理解を深め、新しい関係性について議論し提案できるようになること。 			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： 私たちの日々の暮らしは、COVID-19禍を期に急速に進んだオンライン化によって大きな変化を余儀なくされた。本講義の前半では、それらの変化について家庭生活や学習・労働環境、娯楽や観光、消費等の身近で具体的な事例を挙げ講習する。後半では、グループワークを行い、前半の講義の成果を実際の教育活動でどのように活用するかについて議論と提案を行い、講習内容の理解をより深める。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~ 9:00	吉光正絵
	講義1~3 【オンライン化による影響を考える】		吉光正絵
	1)家庭生活への影響	9:00~9:55	
	2)学習環境への影響	10:00~10:55	
	3)労働環境への影響	11:00~11:55	
	昼休憩		
	講義4~6 【オンライン化社会の新しい関係性を考える】		吉光正絵
	4) レジャー環境へのオンライン化による影響	13:00~13:55	
	5)オンライン化社会の新しい関係性1	14:00~14:55	
	6)オンライン化社会の新しい関係性2	15:00~15:55	
	筆記試験	16:00~16:30	吉光正絵
キーワード： (オンライン化) (生活文化) (社会関係)			
成績評価の方法	成績評価は、試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	当日、資料を配付します。		
各自で準備するもの	特になし		
受講上の注意	1. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 2. 遅刻は原則として認めません。		